

平成25年度(26年3月期) 連結決算概要

1.平成25年度(26年3月期) 決算実績 <対前期>

(1)決算実績のポイント

増収増益：増収は4期連続、増益(当期純利益ベース)は2期連続。
売上高・各利益とも歴代1位。
(これまでの過去最高)売上高・当期純利益は24年度、営業利益・経常利益は18年度

ガス販売量	△655百万m ³	:気温影響(△99百万m ³)による暖房・給湯需要等の家庭用需要減 :発電用ガスをトーリング契約へ変更したことによる(△969)工業用需要減
売上高	+1,965億円	:家庭用需要落ちこみも、原料費調整により都市ガス売上は1,032億円増 :電力・LNG販売等のその他エネルギー売上高209億円増
営業費用	+1,760億円	:ガス原材料費が円安影響等により909億円増(当期9,500←前期8,591) :電力・LNG販売等のその他エネルギーに関わる費用が増
営業外損益	△82億円	:為替差損益△53億円(当期△55←前期△2) :専用設備料収入△23億円(当期5←前期28)
特別損益	△41億円	: (当期) 固定資産売却益10億円、減損損失△23億円 : (前期) 関係会社株式売却益34億円、投資有価証券売却益10億円、 減損損失△15億円
配当金		: 期末配当金は、1株当たり5.0円といたします(年間10円)。 : また、400億円・8千万株(3.2%)を上限に自己株式取得及び消却を実施します。

<26年3月末現在連結会社数:連結子会社69社、持分法適用関連会社6社>

(単位:億円)

決算実績表	25年度	24年度	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	14,735	15,390	△ 655	△ 4.3
(参考)トーリング込ガス販売量(※)	16,245	15,986	259	1.6
売上高	21,121	19,156	1,965	10.3
営業費用	19,460	17,700	1,760	9.9
営業利益	1,660	1,456	204	14.0
経常利益	1,596	1,474	122	8.2
当期純利益	1,084	1,016	68	6.7

(※)トーリング契約：電力販売者が発電に必要な燃料ガスを調達して発電事業者に渡し、発電事業者はそれを燃料に受託発電し電力販売者に引渡して受託発電料を得る契約

経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)(※)
25年度	100.17	109.99	17.0
24年度	82.91	113.88	16.6
増減	17.26	△ 3.89	0.4

(※)お客さまそれぞれの、ご使用期間(前月の検針日から当月の検針日まで)における気温を平均したもの。

(2)ガス販売量

		25年度	24年度	増減	%		
ガス販売量	お客さま件数	千件	11,111	10,978	133	1.2	
	家庭用	百万m ³	3,450	3,535	△ 85	△ 2.4	
		業務用	百万m ³	2,844	2,847	△ 3	△ 0.1
		工業用	百万m ³	6,433	7,055	△ 622	△ 8.8
	計	百万m ³	9,278	9,902	△ 624	△ 6.3	
	他事業者向供給	百万m ³	2,007	1,953	54	2.8	
合計	百万m ³	14,735	15,390	△ 655	△ 4.3		

家庭用：気温が前期と比較して高く推移した影響による暖房・給湯需要減
業務用：ほぼ前期並みの販売量
工業用：幹線(千葉～鹿島)開通に伴う新規需要の開発及び発電用需要の増があるものの、トーリング影響(△969)による減
他事業者向供給：供給先事業者の需要増

(3)セグメント別売上高・セグメント利益

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	25年度	24年度	増減	%	25年度	24年度	増減	%
都市ガス	15,051	14,019	1,032	7.4	1,526	1,413	113	8.0
器具及びガス工事	2,217	2,060	157	7.6	76	44	32	72.7
その他エネルギー	3,575	3,366	209	6.2	325	259	66	25.4
(電力)	1,359	1,270	89	7.0	244	191	53	27.7
不動産	283	302	△ 19	△ 6.4	57	56	1	1.8
その他	1,993	1,957	36	1.9	116	135	△ 19	△ 13.6
(海外)	221	124	97	78.3	28	24	4	17.8
調整額	△ 2,000	△ 2,550	550	-	△ 441	△ 451	10	-
連結	21,121	19,156	1,965	10.3	1,660	1,456	204	14.0

(注)セグメント別売上高には事業間の内部取引を含んでいる。セグメント利益の調整額の主なものは各セグメントに配賦していない全社費用。

(4)主要計数

(単位:億円、%)

	25年度	24年度	増減		25年度	24年度	増減
設備投資	2,480	1,837	643	D/Eレシオ	0.71	0.69	0.02
営業キャッシュ・フロー	2,488	2,404	84	ROA	5.2	5.3	△ 0.1
有利子負債	7,138	6,425	713	ROE	11.2	11.5	△ 0.3

2.平成26年度(27年3月期) 業績予想

(1)業績予想のポイント 対前期増収減益

ガス販売量	+531百万m ³	:発電用など工業用需要の増加、及び前期の高気温による家庭用需要減からの回復等により、3.6%増加の見通し(用途別内訳については決算短信の4頁(次期の見通し)参照)
売上高	+1,859億円	:都市ガス+1,285億円(ガス販売量の増加、及び原料費調整による売上単価増) :その他エネルギー+595億円(電力、エネルギーサービス、LNG販売等売上単価増)
営業費用	+2,220億円	:都市ガス+1,540億円(原材料費増加等)、その他エネルギー+699億円
営業外損益	△6億円	
特別損益	+133億円	: (当期) 保有株式売却益80億円、固定資産売却益41億円 : (前期) 固定資産売却益10億円、減損損失△23億円

(単位:億円)

	26年度	25年度	増減	%	26年度2Q	25年度2Q	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	15,266	14,735	531	3.6	7,118	6,673	445	6.7
(参考)トーリング込ガス販売量	16,932	16,245	687	4.2	7,965	7,416	549	7.4
売上高	22,980	21,121	1,859	8.8	10,430	9,335	1,095	11.7
営業費用	21,680	19,460	2,220	11.4	9,820	8,649	1,171	13.5
営業利益	1,300	1,660	△ 360	△ 21.7	610	685	△ 75	△ 11.0
経常利益	1,230	1,596	△ 366	△ 22.9	600	649	△ 49	△ 7.7
当期純利益	940	1,084	△ 144	△ 13.3	500	427	73	16.9

(単位:億円)

経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)
26年度	105.00	110.00	16.6
25年度	100.17	109.99	17.0
増減	4.83	0.01	△ 0.4

為替・原油変動影響感度	売上高	原料	営業利益
円・ドルレートが¥1/\$円安	77	95	△ 18
原油価格JCCが\$1/bbl上昇	53	73	△ 20